

⑧ ⑧ 新 水源環境保全・再生への取組み

【基本的な考え方】

- 水源環境保全・再生に向けた取組みを推進するため、20年間の取組み全体を示す「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」と、最初の5年間に取り組む「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」に基づき、平成19年度から計画事業を推進する。
- 特に、「実行5か年計画」に位置づけた12の事業については、個人県民税の超過課税による財源を活用し、着実かつ効果的な推進を図る。

施策名の(◇)印は、市町村の取組み事業。(◆)印は、市町村の取組みを一部含む事業。	予 算 額
<b>森林の保全・再生</b>	<b>【 27億1,087万円】</b>
<b>水源の森林づくり事業の推進</b> 水源かん養機能など森林の持つ公益的機能を高めるため、水源の森林エリア内の私有林の公的・管理・支援を推進する。 (拡充分は水源環境保全・再生事業会計で計上し、既存分は一般会計で計上)	21億 904万円 (一般会計計上分含め34億4,143万円) 水源林確保 1,372ha 拡充分 639ha 既存分 733ha 水源林整備 2,026ha 拡充分 1,467ha 既存分 559ha
<b>丹沢大山の保全・再生対策</b> 土壌流出防止対策を実施するほか、ブナ林等の保全・再生のための研究、樹幹保護及び登山道整備などの県民協働の事業に取り組む。	9,700万円 土壌流出防止対策 6.5ha ブナ林等の調査研究 協働事業のための測量調査
<b>溪畔林整備事業</b> 水源上流の溪流両岸において、土砂流出防止や水質浄化、生物多様性の保全などの公益的機能を高度に発揮する森林整備を行う。	3,200万円 現況調査
<b>間伐材の搬出促進</b> 森林資源の有効利用による森林整備を推進するため、間伐材の集材・搬出に対し支援する。	6,840万円 搬出量 6,000m <sup>3</sup>
<b>地域水源林整備の支援(◆)</b> 地域の水源保全のため、市町村が行う水源林の確保・整備を支援するほか、高齢級の私有林人工林の間伐を促進する。	4億 443万円 私有林の確保 239ha、整備 204ha 市町村有林の整備 54ha 高齢級間伐 100ha
<b>河川の保全・再生</b>	<b>【2億4,720万円】</b>
<b>河川・水路における自然浄化対策の推進(◆)</b> 市町村管理の河川・水路の良好な水源環境を形成するため、市町村が行う水辺環境の整備や直接浄化を支援する。	2億4,720万円 河川等の整備 3箇所 直接浄化対策 3箇所
<b>地下水の保全・再生</b>	<b>【1億6,150万円】</b>
<b>地下水保全対策の推進(◇)</b> 地下水を主要な水道水源としている市町村が主体的に取り組む地下水かん養対策や水質保全対策を支援する。	1億6,150万円 地下水保全計画の策定 かん養対策・汚染対策の実施
<b>水源環境への負荷軽減</b>	<b>【3億4,300万円】</b>
<b>県内ダム集水域における公共下水道整備の促進(◇)</b> 県内ダム集水域の生活排水処理率の向上のため、市町村の公共下水道整備を支援する。	3億 430万円 整備 28.6ha
<b>県内ダム集水域における合併処理浄化槽整備の促進(◇)</b> 県内ダム集水域の生活排水処理率の向上のため、市町村の合併処理浄化槽整備促進を支援する。	3,870万円 事前調査 設置 20基
<b>水源環境保全・再生を支える取組み</b>	<b>【6,492万円】</b>
<b>相模川水系流域環境共同調査の実施</b> 山梨県側の相模川水系流域の私有林の状況や生活排水処理方法の実態などの調査を実施する。	1,550万円 私有林調査 生活排水対策調査
<b>水環境モニタリング調査の実施</b> 事業の実施効果を測定するため、森林、河川などのモニタリング調査を行うとともに、その結果等の情報提供を行う。	3,822万円 森林のモニタリング調査 河川のモニタリング調査 情報提供
<b>県民参加による新たな仕組みづくり</b> 水源環境保全・再生の取組みについて、広く県民の意見を反映させながら推進していくため、県民参加の仕組みを構築する。	1,120万円 県民会議の設置・運営
<b>新たな財源を活用する事業の計</b> (うち超過課税相当額は 35億2,733万円)	35億2,750万円
<b>水源の森林づくり事業における既存分の計</b>	(水源林確保 733ha 水源林整備 559ha) 13億3,238万円

※水源の森林づくり事業における既存分は、平成18年度当初予算で18億3,238万円を計上。

19年度当初予算との差額△5億円は、企業会計負担相当分の当然減。